

7/21-27#3主の回復における力ある三つの実質である祈りとその霊と御言によって一つ思いを維持する:

I. 私たちは、祈りとその霊と御言によって、神の行動のために一つ思いを維持することができます。私たちは御言の中で勞し、祈りにおいて勞苦し、聖霊とやりとりすることに勤勉でなければなりません:A祈りとその霊と御言は、主の回復における力ある三つの実質です。使徒1:14 これらの人はみな、婦人たち、イエスの母マリア、イエスの兄弟たちと共に、一つ思いでひたすら祈り続けていた。8しかし、聖霊があなたがたの上に臨む時、あなたがたは力を受ける。そして...地の果てまでも、私の証し人となる。4:31 彼らが懇願していた時、...彼らはみな聖霊で満たされ、大胆に神の言を語り出した。B私たちは祈らなければならず、それによって私たちは力としてのその霊を持ち、御言を広めます:1私たちは自分自身を聖なる御言で浸透させ、構成させ、浸し込ませさえないければなりません。もし私たちが福音を宣べ伝える負担を持つなら、私たちは御言の中へと入り込み、御言を知っている人にならなければなりません。2私たちは、主が私たちの全存在を光の中へともたらしてくださり、主によって対処され、内側も外側も、すなわち本質上においてもエコノミー上においてもその霊で満たされた、力の人となるように求めるべきです。C初期の弟子たちが異なる方法、手段、媒介、実質を持って、この地上で主の行動を遂行したなら、一つ思いを維持することはできなかつたでしょう。唯一の一つ思いを維持するために、私たちすべては同じ方法によって同じ事を行なうことを学ばなければなりません。D私たちは、祈りとその霊と御言以外の方法を取ることを考えてはいけません。他のあらゆる方法は異議と分裂を引き起こします。

II. 御言を通しての聖別は、分裂の要因を対処することによって、一という結果になります。真理は聖別し、聖別は一を生み出します:A聖別する言葉、聖別する霊、聖別する命、聖別する神はすべて一です。ですから、私たちが聖別されつつあるなら、分裂のすべての要因は取り除かれているので、私たちは自然に一です。Bヨハネ17:17~23で、聖別が真の一を生み出すことを見ます。なぜなら、この聖別は私たちを三一の神の中に保つからです。21節は言います、「それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にあるように、彼らも私たちの中にいるためであり」2三一の神の中にいる唯一の道は、聖別する真理によって、分裂のすべての要因を対処することです。3三一の神の中に保たれることによって、私たちは一です。しかし、私たちが三一の神の中から出てし

まうときはいつも、直ちに分裂します。4私たちは毎朝、主と接触し、生ける御言に触れ、神聖な實際が私たちの存在の中へと注入されるようにする必要があります。私たちはこのように主と接触するとき、分裂の要因に打ち勝ちます。6真理の言葉を通しての聖別は、キリストのからだの一、すなわち、三一の神の拡大された一という結果になります。ヨハネ17:17 彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です。C分裂の要因は四つあります:1これらの要因の第一はこの世です。私たちがあ

る面においてこの世を愛している限り、その面のこの世は分裂の原因となります。2分裂のもう一つの原因は野心です。私たちが御言を通して主と接触して、彼にご自身を私たちの中へと注入していただくとき、このようにして私たちの存在の中へと分け与えられた真理は、私たちの野心を殺します。3分裂の第三の原因は自己を高く上げることです。私たちは進んで無になり、キリストを唯一の重要な方、宇宙の首位を持つ方として高く上げるべきです。4分裂の第四の要因は意見と観念です。私たちは自分の意見を保持するのではなく、単純に主の目標を追い求めるべきです。その目標とは、キリストを命またすべてとして回復して、召会を建造することです。

III. 私たちが自分自身から出て来て、三一の神の中へと入るとき、私たちは一であり、さらには成就されて一となり、一つ思いの中にいます:エペソ4:4 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。5 一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。6 すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。A聖別されるとは、自分自身から出て来て三一の神の中へと入り、キリストに私たちの中で生きていただくことです。このようにして、私たちは成就されて一となります。Bこの聖別が起こるのは、真理である御言によって、また真理の霊であるその霊によってです:2私たちが御言に触れれば触れるほど、そしてその霊が私たちに触れれば触れるほど、ますます私たちは自分自身から出て来ます。私たちは一つの住まい、すなわち自己から、別の住まい、すなわち三一の神に移動します。5いったん私たちが自分自身から出るなら、聖別され、分裂の要因から分離されて、神へと分離されるだけでなく、神の中へと入ります。6真の一と一つ思いを持つために、私たちはまず自分自身から出て来て、三一の神の中へと移動しなければなりません。そして、キリストに私たちの中で生きていただかなければなりません。それは私たちが、どの地方においても、聖徒たちと一になることが

できるためです。C「私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」(ヨハネ17:23)。この成就された一は真の建造です。これは命における成長です：1成就されて一となるとは、この世、野心、自己を高く上げること、意見と観念から救われることを意味します。2「私が彼らの中におり」一これは、御子が私たちの中で生活し行動していることを意味します。3「あなたが私の中におられる」一これは、御父が御子の中で生活し行動していることを意味します。D野心はヨハネ17:21で暗示され、自己を高く上げるとは22節で暗示され、観念と意見は23節で暗示されています：ヨハネ17:22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。23 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。また、あなたが私を遣わされたこと、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを、世の人が知るためです。2手順を経た三一の神の神聖で奥義的な領域の中で、野心は飲み尽くされ、自己を高く上げるとは消え去り、観念と意見は殺されます。ここには、サタンの体系化されたこの世における分裂させる邪悪はありません。むしろ、真の一があります。E真の一は、御父の中で生きて、キリストに私たちの中で生きていただき、御父の栄光、彼の表現の中に生きることです。2実際の建造、一、一つ思いは、一の実行として、ただ三一の神の中でのみ可能であり、キリストが私たちの中に生きてはじめて、この建造は優勢です。そして私たちは栄光の中で御父を表現し、真の一を経験することができます。IV.使徒行伝が見せているのは、私たちが必要とする祈りが、本質上においてもエコノミー上においてもその霊で満たされて、私たちのすべての活動が、代理の神の活動となるためであるということです：A私たちが必要とする祈りは、その霊の注ぎ出しをもたらした祈りです。B私たちが必要とする祈りは、地を揺り動かし、弟子たちを聖霊で力づけて、あらゆる大胆さをもって神の言葉を語らせた祈りです。C私たちが必要とする祈りは、言葉の務めと符合する使徒たちの祈りです。D私たちが必要とする祈りは、ペテロを夢心地にし、天のビジョンを彼にもたらした祈りです。H私たちが必要とする祈りは、パウロを夢心地にし、主の語りかけを彼にもたらした祈りです。使徒22:17 それから、私がエルサレムに戻り、宮の中で祈っていた時、夢心地になり。V.使徒行伝が見せているのは、私たちが神と共に働いて召会を建造することが、霊的戦いであるということ、祈りが神の働きを完成する秘訣であるということです。

エペソ6:17 また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、18 すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。A私たちが主の御前に発する祈りは、「相反する祈り」に敵対して立ち、抵抗しなければなりません。この相反する祈りは、特に召会と、私たちが召会を建造するためになしている働きに対して向けられています。B私たちは、一つ思いを維持し、一を実行するために、「うまずたゆまず祈り、感謝しつつ祈りの中で目を覚ましている」必要があります(コロサイ4:2)。私たちは絶えず祈り、自分自身を主と親密に結び付けることを保つ必要があります。C祈らないことは罪です。主の回復の中のすべての人は、祈りに満ちていなければならず、祈らない罪に敵対して立たなければなりません。E私には主と接触し、主の言葉を祈り読みすることによって、内側の分裂の要因に打ち勝った証をします。今年4月に小学校5年生になり、まだバプテスマされていない青少年が6人いました。彼らの親の中には、まだ救われていない人や集会に来ていない親もいたので、福音開展中に6人の内2~3人がバプテスマできたら良いだろうと思っていました。しかし、毎回福音開展の前に、兄弟姉妹と一緒に霊を活用して詩歌を歌い、御言葉を祈り読みすることによって、信仰が私の中に注入されました。私には彼らが全員救われるのは非常に難しいという観念がありました。しかし、主に祈れば祈るほど、自分の観念から救われ、信仰が増し加わり、主のみこころに触れるようになりました。マタイ28:19は言います「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」。私は単純に主の言葉を信じ、兄弟姉妹と一緒に6人の青少年のために祈りました。祈った後、兄弟姉妹と一緒にひとりの兄弟を訪問しました。彼のお母さんはお風呂の水を既に入れていて、バプテスマの準備ができていました。一緒に祈ってから、彼は喜んでバプテスマされました。ハレルヤ、主を賛美します。結局、6人の兄弟たち全員が福音開展中にバプテスマされ、神の王国に入りました。彼らの内4人は、毎週喜んでYP地区で主日集会に参加して、主をエンジョイしています。残りの2人も家庭集会で接触して養われています。私は自分の意見や観念を保持するのではなく、単純に主の目標を追い求めるため、御言葉を祈り読みし、その霊で満たされる必要があることを経験しました。召会建造のための一つ思いは、祈り、その霊、御言葉から来ます。